

- ◆企画名 KU バザー
日 程 平成 23 年 10 月 15 日 (土)
場 所 国際部交流室
参加者数 47 名 (KUブリッジ 7 名、留学生 40 名)
目 的

本学学生に、家に眠っている食器や衣類などといった日用雑貨（使用・未使用は問わない）を中心とする物品を提供してもらおう。それを KU バザーの場で本学交換留学生・正規留学生に無償提供することで、留学生の生活における利便性向上を図る。

内 容

[当日のスケジュール]

9:30～ 会場設営

- ・机の配置 ・有鄰館（ピア 5）からの物品の運搬・陳列

11:00～ 企画開始

- ・受付：・バザーに参加してくれた留学生に名簿への記入を促す
- ・どの種類の告知（チラシ、インフォメーションなど）を見て、企画に興味を持ったのかを尋ね、表に記入してもらおう。
- ・巡回：・会場で留学生に声をかけ、物品の紹介をする。
- ・物品の持ち帰りは一人につき原則 3 点までと伝える。

13:00～ 企画終了→後片付け

- ・在庫管理表に残った物品と無くなった物品を記入
- ・残った物品の回収→有鄰館（ピア 5）へ ・会場をもとの状態に還元

～14:00 完全撤収



感 想

物品を提供してくれた日本人学生からは「使っていないが、もったいないため捨てるに捨てられず、結果家で眠らせていた物品を、留学生の生活で活かしてもらえてうれしい」という声を、一方の留学生からは「こんな素敵なものをもらってよいのか」という驚きと喜びの声を聞くことができ、この企画の有意義性が感じられた。

9月のキャンパスツアー時の宣伝や、各学舎でのポスター掲示、また、授業やKBCでの告知などを、従来の告知に加えて行った効果もあってか、497品の物品が集まり、40名の留学生に訪れてもらうことができた。本企画は、留学生の生活における利便性向上の一助となるとともに、ブリッジの認知度の上昇につながるものとなったのではないかと思います。

改善点

- ・他のピアの人達にも物品回収のときに協力を求めるべき。
- ・事前に物品の使い方などを把握しておくべき。
- ・告知の方法を改善すべきである。